

広島・本通からお届けする、こ粋なお話。

本通情報手帖

[ウー]

Ø [u:]

平成22年●新春号

「Ø」はデンマーク語で「島」のこと。一つ一つのお店に宝物がある本通を宝島に例えています。

本通FAN!!... 広島出身シンガー

石井杏奈

今回の本通人...

渡邊敏明

広島本通商店街振興組合事務局長

本通は
広島の顔。

HON-
DORI

ご自由にお取りください。

粋いかたか

③

本通に生きる人々の
粋な心意気が見える、
生き方、人間史。

渡邊 敏明

広島本通商店街振興組合事務局長



街の顔である商店街が私は大好きなんです。
広島の顔・本通商店街をもっと誇れる街へ…。



わたなべ・としあき

昭和21年7月生まれ。63歳。大学卒業後、37年間
広島県職員として務め、3年前、広島本通商店街
振興組合・事務局長に就任。NPO法人セトラひろ
しまの理事を務めるなど、広島の街の活性化に向
けた様々な活動を意欲的に行う。経営の相談・診断・
支援などを行う中小企業診断士の資格も取得。

生

まれは広島市ですが、私は本通の出身ではありません。でも今、こうして本通に関わらせてもらっているのは、昔から商店街に

対して強い親近感があったからだと思いますよ。私の親は元々山口県で卸売業を営んでいました。その家業を継ぐことを考えて私は広島商業高校に通っていましたが、戦争が終わって地方の卸売業はどんどん衰退していき、私の家も商売を辞めざるを得ない状況になっていたんです。ですから、高校卒業後は大学へ進学し、その後、世の為人の為になる仕事に就きたいと考えて公務員の道を選び、県庁に入りました。

一緒にぶらついてね。昭和39年の東京オリンピックの時に、キリンピアホール（現在の広島パルコの場所）の前にあった街頭テレビでそのパレードを観たことを鮮明に覚えてますよ。それから、高校の授業の一環でも本通を訪れていました。本通の商店の中から先生が10店舗くらいを選んで、生徒達はその店の入りやすさや飾り付けの良さなどの点数を付けるという授業があったんですよ。商業高校ならではの授業ですよ。本通には広島出身の方達が沢山いらっしゃるから、きっと快く受けてくださったんでしょうね。その時に、「メガネのタナカ」や今はもう閉店された「高砂屋金物店」さんに訪問したことを覚えてますよ。



県庁へは37年間、60歳まで勤めました。私は商業関係の仕事に希望し、関連のある部署で長年勤めることができました。その頃の趣味といえば、日本全国の主要商店街を一人で巡ること。青春18切符を使って休日の度に出かけ、日本の県庁所在地の商店街はほぼ制覇しました（笑）。親の商売の影響はもちろんあるんですが、どうも昔から商店街・繁華街が好きなんです。街のメインストリートでしょう？ それ自体が街の良さに繋がっていると思うんです。商店街が発展していたら、その街の発展になるし、その地域が発展していることになる。商店街は街の中で一番の顔なんです。



広島商業高等学校に通っていた高校2年生の頃。山登りにて。

定年退職直前に、縁あって広島本通商店街振興組合の事務局長のお話をいただきました。昔から大好きな商店街の仕事ですから、大変光栄でしたよ。昔は選歴で引退というのが当たり前のようになってきましたが、今は60歳を過ぎてはばりばり働いている人の方がむしろ多いくらいです。ですからね。それぞれの生き方だと思えますが、私は社会に参加できるチャンスを与えてもら

えて本通に感謝しました。これまで全国の商店街を巡って感じていた想いや、思い描いていた商店街像を形にすることができ、そんなふうにも考え、とても嬉しく思いました。実際に本通商店街の中に入ってみると、私は商店街のことをわかっていなかった。つまり、だった。ということに気づかされました。私が知っていたのはほんの一部、官の視点にすぎなかったんだな。と。やはり官の視点、民の視点、その両方の目から見て初めて全体がわかってくるんだと思えました。それがわかったからこそ、私がやるべきことは官と民の架け橋になるようなサポートであるということにも気付きました。現在は、事務的な業務の他に、本通商店街のためにプラスになることをと考えると、経済産業省が集まる勉強や異業種交流会などにも積極的に参加をして情報収集等を行っています。商店街の皆さんは商売が第一です。ですからね、その手を煩わせないように。私たちは組合の業務をしっかりと行いたいと思っています。



趣味で各地の商店街を回り始めた40代。熊本の本通商店街にて撮影。

広島本通商店街振興組合事務局

●商店街振興組合の法律に基づいて組合運営をしていく為の事務的な業務を行う。渡邊事務局長は安心・安全な街づくりのために夜間/外ロールを行ったり、休日を使って大型商業施設の視察を行ったりも。「自分の時間はあまりないけれど、自分の好きな仕事だから全く苦ではないんですよ」と笑う。→MAP

著名人がここ広島で自由に語る、広島の話、本通の話。

-Hondori- 本通放談 -Hodan-

今回の本通 Fan

石井杏奈

広島ばり好きじゃけえ
I ♥ HIROSHIMA

あまな



いもい-あんな ●1994年、広島県広島市生まれ。小学4年生よりアクターズスクール広島に所属し、歌、ダンスなどのレッスンをスタート。2009年10月に広島地区ローソン限定CD「がんばるけん」にてデビューを果たし、オリコンインディーズチャートにて3位という快挙もあげている。CDジャケットにも使用されたこの写真は広島市中央公園にて撮影。オフィシャルホームページ <http://www.ishiana.net/>

「あたしは「がんばるけん」」。本通の「赤松薬局」や「ラランジエ本店」も出演しているテレビCMなどでこのメロディーを耳にしたことのある人もきっと多いはず。広島弁や広島の風景が随所に散りばめられた優しいバラード「がんばるけん」。この歌を歌うのは、弱冠15歳、現役高校1年生のシンガー・石井杏奈です。広島で生まれ、広島で育った彼女は、遠く離れた大切な人への想いを綴った今作で昨秋デビューしたばかり。にも関わらず、ご当地CD、地元井ソングなどと広島を中心に一気に話題となり、全国的にもその注目度は高まる一方です。そんな、老若男女問わず人気を集めている彼女に本通マガジンが単独インタビュー。歌っている時の印象とはまた違う、素の、無邪気な、彼女の言葉を。



石井杏奈



1st Single「がんばるけん」800円
広島地区ローソン、
フタバ図書各店で限定発売中
※フタバ図書は“赤パッケージ”バージョン
全国のローソン“Loppi”にて取り寄せ販売中



昨年12月27日、CD購入者限定のプレミアムライブをテレビ新広島にて開催。「この曲は自分にとって大切な一曲です」と、アンコールでは特別に「がんばるけん」をアコースティックバージョンで披露した。

歌うことは小さな頃から好きで、それも全部父親の影響が大きいですね。父はとても音楽が好きで、私が小さな頃から色々なジャンルの音楽を聴かせてくれたんです。というか、いつも音楽が側にあった感じですね。だから、自然と私もそれに合わせて歌うようになっていった。本格的にレッスンを始めたのは、偶然知った「アクターズスクール広島」の公開オーディションがきっかけです。母親に薦められて、ダメ元で応募してみ

たら、そこで賞をいただくことができたんです！それでも、歌手になりたい！と強く思っていたわけじゃないかな。つたんですけど、中学2年生位の時に、歌手という夢がはつきりとしてきて。スクールの中でライブができたり、先輩の Perfume がデビューしたり：という環境の変化が私を刺激したのかもしれない。今回デビューシングルとなった「がんばるけん」で、初めて自ら

作詞することに挑戦しました。広島らしい歌にしたいという想いがある、本通や宮島など、私が好きな広島の風景を沢山入れたんです。広島弁は普段から使っている言葉なので、それも歌詞の中に入れてたくて。涙はもういらん、。はぶてんでがんばるけん、。くせじゃけえ。という言葉を入れました。でも実は、広島弁があまりにも自分に溶け込みすぎていて、自分自身ではどれが広島弁なのかよくわからなかったりもしたんです

「広島といえば：で一番に思いつくくらい」 “本通”は私にとって大きな存在です

よね（笑）。一緒に作詞をしてくださった方に言われて初めて、これが広島弁なんだと気付いた言葉も沢山あったんですよ。

歌詞の冒頭にも出てくる「本通」は、私にとって欠かすことのできない場所。市内電車に乗って紙屋町まで行って、そこから本通をバルコ方面に向けて買物をして歩いて、また逆方向にアーケードを歩いて：と行ったり来たりが定番コース（笑）。

かなり頻りに足を運ぶ場所なので、広島といえば、本通！っていうくらい、私にとっては大きな存在です。ステージの衣装を母と選ぶ時にも本通に行っていた思い出があります。あとは、えびす講やとうかささんなどのお祭でも本通には必ず行きますね。

特に目的がなくても、ぶらぶらするのが好きで、学校帰りに制服のまま行ったり：、本場に沢山の思い出がある場所です。

歌詞の中には「球場」という言葉も出てくるんですが、球場といえばやっぱり私の中では広島市民球場のイメージがまだ強くて。小さい頃に父親と一緒に

行って、野球のルールもわからないのに、メガホン片手にパン鳴らして。隣のお客さんに合わせて盛り上がりました（笑）。試合終了後に選手が投げたボールをキャッチした思い出もありますよ。残念ながらカーブの選手ではなく、相手チームの古田選手（ヤクルト）の投げたボールでしたけど（笑）。

歌手という仕事をはじめたら仕事で県外に行くことも増えてみたくて、広島から離れてみて初めて気付いた広島の魅力も沢山ありました。広島の人もちって、皆が親戚のおばちゃんやおじちゃんみたい：というか（笑）、親切だし、フレンドリーなんですよね。本通は人が沢山通る場所だから、人と人がぶつかることってよくあると思うんですけど、そんな時には必ずみんな謝ってくれるでしょ？

それが当たり前って今までは思ってたけど、そうじゃない街もあるんですよ。そう気付いてからは、本当に広島って人情がある街だなあって嬉しく思いました。



私の夢は、これからも広島から歌い続けて、いつか世界で活躍するミュージシャンになりたいということ。作詞だけでなく作曲にも挑戦したいし、ダンスや演技もやってみたい。今はなんでもチャレンジしてみたい気持ち強いんですね。でも、急ぐと失敗しちゃうので（笑）、ゆっくり自分のペースで歩いていきたいと思っています。

くったくのない笑顔を見せたかと思うと、時折、凛とした表情で歌への想いを語る彼女。地元ソングを引っ提げ、プロとして歩み始めた歌手・石井杏奈さんの今後も目が離せません。①

昔の本通を知る人たちが語る、あの頃の本通。
ぬくもりと人情が溢れる本通の思い出を、懐かしい写真と共に。

故郷の温もり 本通告知新



語り部・田中博
たなか ひろし

呉から広島へ出てきたのは
戦後間もない昭和24年頃。

本通三丁目までは商店が沢山あって賑やかだったけど
この辺り(本通四丁目)は銀行ばかりで
人通りも少なく、寂しいものでしたよ。

だからその頃は、自転車で田舎へ出向いて
袋物やキセル、扇子なんかを販売してまわってたね。

その頃記憶にあることといえば、馬車の運送屋。

木箱に入った荷物を本通まで馬車で運んできていて。

だから本通のあちこちに馬糞が転がっててね(笑)。

それを農家の人が肥料にするために拾って歩いてましたよ。

なんとかしてこの辺りを賑やかにしたい
という想いがあったから、

四丁目会の皆で本通の行事には積極的に参加してね。

フラワーフェスティバルの前身とも言われている

「広島まつり」では、皆で仮装して
パレードをしたことを覚えてますよ。

動物の着ぐるみを着て、仲よし動物カーニバルってね。

私はウサギの着ぐるみで参加しましたよ(笑)。

(写真は20代後半の頃、前列右から3人目)

「おいらん道中」で花魁と一緒に本通を練り歩いたり

太鼓を叩いて踊り歩くお祭に参加したり…

あの頃は、本通の皆でこういった行事に参加する事が

楽しくて仕方なかったんですね。

そう考えると、本通は昔から本当に

活気のある商店街だったなあと思いますよ。



昭和四年生まれ。八十歳。昭和十年に呉市で創業した「寺田屋」(靴・袋物などの卸・販売)の二代目として生まれる。
昭和二十四年に広島本通に移転。現在は三代目の一誠さんをはじめ、家族と共にお店を営む。→MAP ①

本通探偵団

依頼 FILE No.3

本通のシンボルが“すずらん”だと前号のφで知りましたが、なぜですか？その由来を教えてください。

中区・S・Yさん (52歳・会社員)

ということで、新年一発目のこのコーナーでは“すずらん”について調べます。前号のφをご覧になっていない方のために、説明しておきますと…。本通の入り口あたり、アーケードの下には、すずらんをモチーフにしたオブジェが飾られているのです…。なぜすずらん？と、知らない人たちににとっては、当然疑問が浮かびますよね。というわけで、調べて参りましたよ～。時はさかのぼること約85年前の大正14年のことです。この年、本通にはすずらんの花の形をした電灯、その名も“すずらん灯”が設置されました(写真→)。当時の本通にはこのすずらん灯が98基も設置されていたらしく(西日本一!)、モダンな雰囲気を感じさせる“すずらん灯”が多くの人たちの心を惹き付けていたんだとか。でも、なぜすずらんの形？不思議ですよええ。そこでまたまた調べてみたところ…。この時代、各地の商店街では“すずらん灯”のブームが巻き起こっていたそうです！この

珍問・疑問・大難問。何でもござれの「本通探偵団」。アナタのカユイところ、カイトあげます(ただし本通だけよ！)。

頃の電気照明は西洋のものを真似て作られることが多かったそうですが、“すずらん灯”は日本独自のもの。その第一号は、本通に“すずらん灯”が設置される約半年前に設置された京都の寺町通りだそうです。ちなみに、デザインをしたのは、関西を中心に活躍した建築家の武田五一さん。彼は祇園祭の際に山車の邪魔にならないように、首を振って折りたたむことができる“すずらん灯”を考案。機能性はもちろん、その美しいフォルムも大好評で、あっという間に全国の商店街に広がっていったそうです。そんなわけで、本通でも定着していた“すずらん灯”ですが、昭和18年、戦争中の金属回収により鉄製の“すずらん灯”は回収され、姿を消してしまいました。しかし、原爆投下



から2年後の昭和22年。当初と比べるとサイズは小さくなりましたが、本通の両側には木製の“すずらん灯”が復活！原爆によって壊滅した商店街を、人々の心を、優しい灯が照らしてくれたんでしょう。本通の入り口に浮かぶすずらんのオブジェは、広島人の復興の想いの象徴、なのかもしれませんね。

参考文献:「広島本通商店街のあゆみ」
広島本通商店街振興組合編

「φ」では本通探偵団で調べてほしい本通の謎や気になることを募集しています。プレゼントページ(8P)の宛先まで、ハガキでどしどし質問してくださいね～。

ゆ子が行く!

Vol.3



ほん★どおり
めっけもん!

ども、ゆ子(ウーゴ)です!今回は、これまでとは一風変わっためっけもんをご紹介しますよ～。実はわたくし、中学でプラスバンド部に所属していたり、高校時代にバンドを組んでいたことがあったり…と音楽にはいろいろ縁がありまして。しかしながら社会人になると楽器に触れる機会ってなかなかなくなるもんなんですよええ。もう何年もご無沙汰だったわけです。そんな時に見つけたのが、「本定楽器店」の音楽教室!知ってました?楽器屋さんで楽器のレッスンができるんですよ!しかも、個人レッスン!!驚沢～。習えるのは、ピアノ、エレキギターなどの一般的な楽器から、フルート、ギター、バイオリン、サクソ、ウクレレまで幅広いので好みに合わせて選べますね。音楽教室って子供が習うのが一般的なんじゃ…?と思ってる方々、ノンノンです。20代～70代まで幅広い、しかも初心者の方で始められる方が多いそうですよ!というわけでゆ子もこの機会に憧れだったサクソのレッスンを受けさせていただきました～(パーカッション担当だったので、サクソは完全初心者です)。ちょっと音が鳴っただけでなんだかでイイ気分(笑)。



1曲吹けたらカッコイイだろうなあ～。
新年、新しいことを始めたい方、この機会にぜひ～。

無料体験レッスンやお試し3ヶ月レッスン(楽器無料貸し出し可)も開催中!
個人レッスン2～3回、曜日・時間は相談の上、決定。

本定楽器店 SHOP DATA・MAP



FMちゅーピーの
I LOVE HON-DORI.



FMちゅーピーのパーソナリティがリレーでお届けする、本通ハッピーコラム。

第3回 岸本侑子(フリーパーソナリティ)

私は2008年10月から、本通商店街のラジオ番組「本通まる得BOX」を担当しています。番組は、本通商店街が主役!これまでたくさんのお店の方に出演して頂きました。幼い頃から両親と一緒に本通商店街で買い物をしていたので、本通についてよく知っているつもりでした。ところが、番組を担当するようになって、お店の方にいろいろな話を聞くうちに、自分の知らなかった本通の魅力がみえてきました。まず、品揃えにかけては日本一・西日本一というお店が多いことに驚きました。また、お店の方から、広島市の歴史や地名について教えて頂いたことも何度もあります(歴史好きにはたまりませんね)。そしてなかには、私の母と某呉服店のご主人が小学校の同級生で、ご近所さんだったという不思議なご縁もありました。本通商店街の魅力は、何と言っても「人」です。皆さんも買い物をするだけでなく、お店の方との会話も楽しんで、新たな本通商店街を発見して下さいね!本通がもっと身近なものに感じられますよ。

岸本侑子—広島市安佐北区出身。一度も広島市を出て暮らしたことがない生粋の広島人。毎週金曜16:00～16:20、PICK-UP本通店の前から公開生放送中の「本通まる得BOX公開生放送」パーソナリティを担当。

